8. 廃棄物

8 廃棄物

8.1 廃棄物排出量の算出

(1) アスファルト・コンクリート塊

アスファルト・コンクリート塊は、主に既設道路の舗装を撤去することによって排出されます。

アスファルト・コンクリート塊排出量の算出方法は、以下のとおりです。算出結果を、表 8.1-1 に示します。

$$\text{アスファルト・コンクリート塊排出量 (m}^3\text{)} = \text{舗装面積 (m}^2\text{)} \times \text{舗装厚 (m)}$$

表 8.1-1 アスファルト・コンクリート塊の排出量

区 間	トンネル等区間				標準区間	
	【A案】 既定都市計画案		【B案】 南側変更案			
種 別	車道舗装	歩道舗装	車道舗装	歩道舗装	車道舗装	歩道舗装
舗装面積 (m ²)	約 14,300	約 18,700	約 14,300	約 18,700	約 21,600	約 11,300
舗装厚 (m)	0.25	0.03	0.25	0.03	0.25	0.03
排出量 (m ³)	約 3,580	約 570	約 3,580	約 570	約 5,400	約 340

(2) コンクリート塊

コンクリート塊は、主に既設道路の側溝等を撤去することによって排出されます。

コンクリート塊排出量の算出方法は、以下のとおりです。算出結果を、表 8.1-2 に示します。

$$\text{コンクリート塊排出量 (m}^3\text{)} = \text{側溝等延長 (m)} \times \text{1 m 当たりのコンクリート量 (m}^3\text{/m)}$$

表 8.1-2 コンクリート塊の排出量

区 間	トンネル等区間		標準区間
	【A案】 既定都市計画案	【B案】 南側変更案	
側溝等延長 (m)	約 1,600	約 1,600	約 2,800
コンクリート量 (m ³ /m)	0.28	0.28	0.28
排出量 (m ³)	約 450	約 450	約 790

(3) 建設発生土

建設発生土は、現地盤の土砂を掘削する土量と盛土として利用する土量の差し引きとして発生します。建設発生土の排出量を表 8.1-4 に示します。

表 8.1-4 建設発生土の排出量

区 間	トンネル等区間		標準区間
	【A案】 既定都市計画案	【B案】 南側変更案	
掘削量(m ³)	約 403,150	約 388,170	約 32,010
盛土量(m ³)	約 4,490	約 4,490	約 1,360
排出量(m ³)	約 398,660	約 383,680	約 30,650

(4) 撤去路盤

撤去路盤は、主に既設道路の舗装を撤去することによって排出されます。

撤去路盤排出量の算出方法は、以下のとおりです。算出結果を、表 8.1-3 に示します。

$$\text{撤去路盤排出量(m}^3\text{)} = \text{舗装面積(m}^2\text{)} \times \text{舗装厚(m)}$$

表 8.1-3 撤去路盤の排出量

区 間	トンネル等区間				標準区間	
	【A案】 既定都市計画案		【B案】 南側変更案			
種 別	車道舗装	歩道舗装	車道舗装	歩道舗装	車道舗装	歩道舗装
舗装面積(m ²)	約 14,300	約 18,700	約 14,300	約 18,700	約 21,600	約 11,300
舗装厚(m)	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10
排出量(m ³)	約 2,150	約 1,870	約 2,150	約 1,870	約 3,240	約 1,130

(5) ガードレール等の鉄製金属

ガードレール等の鉄製金属は、既設道路の撤去時に発生します。各種管理図面等から推計したガードレール等の鉄製金属の排出量を表 8.1-5 に示します。

表 8.1-5 ガードレール等の鉄製金属の排出量

区 間	トンネル等区間		標準区間
	【A案】 既定都市計画案	【B案】 南側変更案	
ガードレール類(t)	約 1.6	約 1.6	約 7.3
道路照明類(t)	約 9.0	約 9.0	約 19.8
排出量(t)	約 10.6	約 10.6	約 27.1